

印象に残った桜 2025

藤原 道夫

桜の開花情報が出る頃になると、どうにもこうにも落ち着かなくなる。この春もあちこちと桜の花を見て回った。以下印象に残った桜について。

染井吉野 街を歩くと枝を切り落とされた桜木をよく見かける。人の都合で切られ、醜い姿を晒している木もある。

新宿御苑には染井吉野の古木が多く、枝が枯れたせいか太いところで切り落とされた樹が散見される。何処にでもあるこの桜を苑内ではよく見てこなかった。この春一株の大きな染井吉野が目にとまった。地面近くまで枝が伸びて口の広いお椀を伏せたような樹形になり、花付きも見事だ。案内所に出向いて問い合わせたところ、樹齢約 90 年とのこと。切った枝が見えず、支えもない染井吉野の古木は珍しい。

長州緋桜 新宿御苑の丁度真ん中、四阿の脇にある大きなこの桜木は毎年見事な花を咲かせる。苑内にはこの一本だけかと思っていたところ、この春少し離れた所に若い木が植えてあり、多くの花を付けているのを見つけた。大輪で花弁は 5～12 個、周辺ほど薄紅色が濃い。花の美しさにしばし見入る。折から近くの染井吉野から吹雪のように花びらが舞ってきた。

以前からこの桜と名花とされる兼六園熊谷とは、形態上似ていることが指摘されていた。インターネットで調べると、最近の遺伝子解析により二つは同一品種であることが証明された、とある。どちらにも地名が付いているので統一した名にするのは難しいだろう。

御車返し 多摩森林科学園に付属する桜保存林は広大な面積を占め、起伏のあるいくつかの斜面に約 180 品種の桜が植えられている。ここ 30 年余、可能な限り訪ねてきた。去年はがけ崩れのために閉鎖された。今年は約半分ほどが開放されるとの情報を得、友人と示し合わせてこよなく晴れた日に訪ねた。急な坂を登るのは久しぶり、花を見たいがため頑張る。平坦になった道の脇にあるはずの御車返しが、跡形もないではないか！ がっかり。

斜面を隔ててさまざまな桜の花が咲いている。これがここならではの景色だ。ただ残念なことに、以前には響き渡っていた鶯のさえずりが聞こえない。どこへ行ってしまったのか？

丘の頂上に出て別のコースを行くと下り坂の途中に御車返しが三本あり、美しい花を付けていた。5～7 分咲き程の薄紅の色合いが特に風情がある。

たまたま桜に詳しい人に出逢い「御車返しには桐ケ谷という別名があるようだが同じもの
でしょうか」と問うと、「鎌倉の桐ケ谷にあった桜を京都に移植して今の名が新たに付けられ
たので同じでしょう」とのこと。しばし桜談義に華を咲かせた。

家に帰って調べ直してみると、足利尊氏が鎌倉の桐ケ谷にあった珍しい桜を京都まで運ん
で御所紫宸殿の左近の桜として植えた、といわれていることを知った。後に後水尾天皇が牛
車に乗って近くを通り過ぎた時に、花の美しさに惹かれて牛車を引き換えさせてもう一度見
た、という故事も残っていて桜の名となったらしい。事の真偽はともかく、桜の品種名とし
て興味深い。